

平成 30 年度 足利赤十字 病院指標

医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）
3. 初発の 5 大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞の患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）
7. その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

年齢階級別退院患者数 [ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	767	219	230	389	654	983	1778	2777	1889	412

退院患者の平均年齢は 60.2 歳、年齢階級中央値は 70 歳台となっております。

60 歳以上の入院患者は 60%を超えており年々増加していますが、地域の中核病院として幅広い年齢層の患者受け入れを行っています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） [ファイルをダウンロード](#)

内科(脳神経内科；消化器内科；腎臓内科)

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パ ス
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 定義副傷病 なし	138	3.49	2.67	0.00	65.72	
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	96	12.64	10.08	2.08	78.60	
110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり 定義副傷病 なし	96	5.29	7.18	0.00	58.27	
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	74	9.28	12.05	2.70	61.85	

040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	70	31.67	20.92	15.71	82.86	
----------------	------------------------------------	----	-------	-------	-------	-------	--

当院の内科は、脳神経内科、消化器内科、腎臓内科、呼吸器内科などの各専門領域に分かれています。各領域には専門医を配置し、幅広い疾患に対応しております。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パ ス
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	271	3.18	3.01	0.00	69.46	
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1,2あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	172	4.17	4.47	0.00	71.30	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	156	16.04	17.66	2.56	80.34	
050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	80	13.96	12.52	1.25	65.79	
050130xx9901xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	54	16.39	19.58	1.85	82.78	

県南地区の三次医療施設として地域循環器医療の中心を担っています。

年間の入院患者は約 1,000 例であり、このうち約 60%が冠動脈疾患、約 30%が心筋症、弁膜症などの心不全症例、残り約 10%が心筋炎、心内膜炎、先天性心疾患、不整脈などです。

小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パ ス
040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、 下気道感染症（その他） 定義副傷	80	5.51	6.19	0.00	1.31	

	病なし						
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	68	2.29	7.28	0.00	5.26	
080270xxxx1xxx	食物アレルギー 手術・処置等1あり	58	1.12	2.14	0.00	2.79	
150040xxxxx0xx	熱性けいれん 手術・処置等2なし	31	4.90	3.83	0.00	2.42	
060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	30	4.67	5.42	0.00	4.03	

当院の小児科は、栃木県南西部における小児医療の中核施設であり、足利市以外に近隣の佐野市・群馬県太田市・館林市などから受診される方もおります。

また、地域母子周産期センターに指定されているため、当院で出生した新生児だけでなく近隣の産科施設からも治療の必要な新生児を受け入れています。

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患 者 用 パス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上）ヘルニア 手術 鼠径ヘルニア等	103	4.62	4.96	0.00	68.06	
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢 摘出術等 手術・処置等1なし 手 術・処置等2なし 定義副傷病なし	102	6.19	7.30	0.00	57.48	
090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う もの（内視鏡下によるものを含む。）） 等 手術・処置等2なし	75	13.48	10.59	1.33	58.84	
060035xx01000x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結 腸切除術 全切除、亜全切除又は悪 性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	71	12.94	15.30	2.82	69.21	
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	57	9.70	8.95	1.75	70.23	

各臓器別（乳腺、食道、胃・十二指腸、肝臓・胆嚢・胆管・膵臓、小腸・大腸、直腸・肛門など）に専門医資格を有する医師が診療に従事しております。

診療内容は手術による外科治療が中心ですが、内視鏡手術、手術をしない薬物投与による保存的治療、最新の抗癌剤を用いた化学療法やホルモン療法、化学放射線治療などを行っております。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患 者 用 パ ス
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	223	30.74	26.30	31.84	82.93	
160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	61	3.70	5.68	0.00	54.46	
160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 定義副傷病 なし	41	5.10	6.07	0.00	45.76	
160740xx01xx0x	肘関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等 定義副傷病 なし	27	5.04	5.55	0.00	39.56	
160850xx01xx0x	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指（手、足）その他等 定義副傷病 なし	23	10.30	16.24	4.35	46.57	

多発外傷や骨折などの急性期の疾患を中心に、上肢下肢の慢性疾患まで扱っております。
近年の高齢化に伴い、大腿骨頸部骨折の患者さまが急増しております。手術室や麻酔科と連携し、受傷後なるべく早期に手術を行うことで、元の生活に戻れるよう努めております。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患 者 用 パ ス
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	47	6.13	9.69	6.38	77.51	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10 未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	32	20.06	18.72	18.75	69.88	
160100xx99x01x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 あり	21	19.24	21.73	28.57	77.33	
160100xx97x01x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 あり	16	36331	23.57	12.50	77.63	

010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	12	2.08	3.02	0.00	64.83	
----------------	--------------------------------------	----	------	------	------	-------	--

365日24時間体制で救急患者の受け入れを行っています。特にクモ膜下出血、脳出血、脳梗塞などの脳卒中の急性期治療と、頭部外傷に最先端治療方法を採用しております。

産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等 2 なし	29	2.66	3.20	0.00	40.76	
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	25	3.16	4.85	0.00	63.44	
120010xx99x40x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	22	2.95	4.79	0.00	62.95	
120170xx99x0xx	早産、切迫早産 手術なし 手術・処置等 2 なし	22	25.95	19.69	13.64	33.27	
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	20	8.65	9.87	0.00	44.55	

当院では、一般的な婦人科疾患、妊娠診療、不妊症、悪性疾患などいかなる疾患でもいつでも診られる体制を取っています。

産科領域では、普通分娩の他に、地域周産期母子医療センターに指定されていることから、ハイリスク分娩や母体搬送の受け入れも行っています。婦人科領域では、全ての婦人科手術に対応している他、化学療法や放射線治療、動脈内化学療法による治療も行っています。

眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	352	2.05	2.84	0	*75.18	
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	-	-	5.39	-	-	
020180xx97x0x0	糖尿病性増殖性網膜症 手術あり	-	-	7.52	-	-	

	手術・処置等 2 なし 片眼						
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・ 処置等 1 あり 手術・処置等 2 な し	-	-	7.05	-	-	
020110xx99xxxx	白内障、水晶体の疾患 手術なし	-	-	2.43	-	-	

皆さまの眼の機能、特に視機能を中心に診療を行っております。当院の眼科では、両毛地区の基幹病院として幅広い眼疾患に対し診察、診断、迅速な治療に結びつけるよう心がけております。

耳鼻咽喉・頭頸部外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パス
030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・処 置等 1 あり	67	2.00	2.04	0.00	55.33	
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	62	7.79	7.04	0.00	54.84	
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	62	7.15	7.89	0.00	10.48	
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性 咽頭喉頭炎 手術なし	50	6.80	5.43	0.00	42.10	
100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫 瘍手術 切除等 手術・処置等 1 な し	31	8.42	8.68	0.00	51.13	

中耳炎・副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・めまい・音声障害・難聴などの耳鼻咽喉科疾患一般の診断治療や悪性腫瘍に対する診断治療を含め、幅広く診療にあたっています。また、言語聴覚士と共に、音声障害・嚥下障害・難聴（補聴器・新生児を含む）などのリハビリ治療、睡眠時無呼吸症候群、予防医学にも力をそそいでおります。

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パス
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿 道的手術 手術・処置等 1 なし 手 術・処置等 2 なし	99	7.93	7.20	1.01	70.95	
11012xxx040x0x	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管 結石破碎術（一連につき） 手術・処 置等 1 なし 定義副傷病 なし	94	2.19	2.72	0.00	59.20	

110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 定義副傷病 なし	65	3.12	2.53	0.00	69.52	
11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1 なし 定義副傷病 なし	46	6.22	5.62	0.00	59.41	
11013xxx06xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	24	8.08	5.64	4.17	71.17	

主に前立腺、膀胱、腎臓および尿管、精巣、陰茎についての診療を行っています。病気の種類では、癌、排尿障害（尿が出にくい、近い、もれるなど）、尿路結石症、感染症（炎症）が主なものです。病状や患者さまの希望等によって、最適の治療を選択して行っています。

呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パス
040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等 2 なし	82	11.30	11.87	0.00	70.56	
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	70	2.77	3.43	1.43	70.81	
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	21	10.33	10.08	0.00	31.81	
040020xx97xxxx	縦隔の良性腫瘍 手術あり	13	8.69	8.66	0.00	59.46	
040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	12	6.67	8.98	8.33	43.33	

肺癌をはじめとした悪性疾患や、気胸等の良性疾患に対する胸部の外科手術・診断に幅広く対応すること、それぞれの患者さんに最適な世界標準の治療を提供することを方針としております。

心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日 数 (自 院)	平均 在院日 数 (全 国)	転院率	平均年 齢	患者 用パス
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等 2 なし	48	12.77	12.01	0.00	73.96	
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置	41	4.37	11.01	0.00	79.78	

	等 1 なし、1, 3あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし						
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス 手術（自己肺動脈弁組織による大動 脈基部置換術）等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり 定義副 傷病 なし	22	21.32	24.00	0.00	68.64	
050163xx97x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 その 他の手術あり 手術・処置等 2 なし	19	4.37	8.16	0.00	75.84	
050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤 切除術（梗塞切除を含む。） 単独の もの等 手術・処置等 1 なし 手術・ 処置等 2 1あり	13	20.31	22.91	0.00	66.31	

5,000 例以上の心臓、血管病の手術実績があり、その豊富な経験の蓄積に基づき、さまざまな病態に対応できるよう日々努力しております。また、患者さん一人一人により良い医療を提供し、納得をして手術を受けていただけるよう、丁寧な診療を心掛けています。

初発の 5 大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数 [ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分 類 基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	30	18	10	-	59	34	1	7
大腸癌	36	34	45	23	49	39	1	8,7
乳癌	44	48	-	-	-	-	1	8,7
肺癌	22	-	14	40	136	49	1	8,7
肝癌	-	-	-	-	23	39	1	7

※ 1：UICC TNM 分類， 2：癌取扱い規約

日本における死因の第 1 位であるがんは増加し続けており、私たちの生命や健康にとって重大な問題であるといえます。このデータは、5 大がん（胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん）について、当院で治療を開始した時点のがん進行程度を示しています。

ステージ I が最も早期で、数が大きくなるに従い、病期が進行していることを表します。

成人市中肺炎の重症度別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日 数	平均年 齢
軽症	24	11.5	54.38

中等症	109	20.66	75.75
重症	22	35.68	82.05
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎は、一般の社会生活を送っている人あるいは軽度の病気を持っている人に起きる疾患です。幅広い年代で見られるものですが、高齢になるにつれて重症度が高い傾向となっています。

脳梗塞の患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	266	39.67	73.32	7.64
その他	22	64.09	73.18	0.35

第三次救命救急センターとして24時間体制で患者受け入れを行っております。そのため、発症より3日以内に治療を行っている患者数が多くなっています。

脳梗塞疾患に対しては、脳神経内科での治療の他、必要に応じて脳神経外科や放射線診断科などと連携し、患者さまの必要度に応じた高度な専門医療を提供しています。急性期の早期リハビリテーションにも力を入れており、リハビリテーション科協力の下、急性期から回復期にかけて切れ目なく充実した訓練が行われています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） [ファイルをダウンロード](#)

内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）等	134	1.59	1.16	0.00	66.50	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	112	1.54	17.45	7.14	78.78	
K610-3	内シャント設置術等	52	8.13	17.50	5.77	69.12	
K654	内視鏡的消化管止血術等	36	1.19	20.17	5.56	70.86	
K635-3	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	31	5.97	22.74	0.00	69.13	

胃十二指腸潰瘍出血、消化管異物除去、ポリープ切除などの治療内視鏡を積極的に行っているため、件数が多くなっております。また、透析治療の積極的な対応も行っていることから、内シャント設置術の件数も多いです。

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの 等	142	2.27	2.52	0.70	70.61	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの 等	47	0.11	19.60	2.13	68.74	
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他のもの 等	36	3.25	3.11	0.00	71.03	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	36	2.08	2.75	0.00	73.19	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの 等	19	0.37	11.74	0.00	63.37	

冠動脈疾患については、冠動脈造影検査（CAG）を年間約 1,000 件施行しており、このうち冠動脈インターベンション（PCI）（経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、ロータブレーター）が約 50%を占めています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	108	1.33	4.43	0.00	57.98	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	82	2.54	11.07	2.44	69.33	
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア 等	55	1.38	2.38	0.00	70.55	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側） 等	49	1.12	2.55	0.00	65.18	
K4763	乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの） 等	49	1.00	12.20	2.04	60.37	

各臓器別（乳腺、食道、胃・十二指腸、肝臓・胆嚢・胆管・膵臓、小腸・大腸、直腸・肛門など）に対して、腹腔鏡下での手術が多くなっております。内視鏡手術などを用いた身体にやさしい治療も積極的に行っています。また、ロボット支援下での手術も実施しております。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血手術（大腿） 等	147	1.27	24.93	31.97	81.63	
K0811	人工骨頭挿入術（股） 等	95	1.76	27.22	28.42	80.72	
K0462	骨折観血手術（前腕） 等	83	1.08	12.10	6.02	60.27	
K0483	骨内異物除去（挿入物含む）術（前腕）	40	0.98	1.35	0.00	45.30	

	等						
K0463	骨折観血的手術（鎖骨） 等	32	1.38	13.47	6.25	54.47	

骨折関連の手術が最も多く、骨折観血的手術（上腕部、前腕部、大腿部）や大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭挿入の手術が多くなっております。

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	53	0.83	8.92	9.43	77.85	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所） 等	19	1.05	43.26	15.79	66.05	
K1781	脳血管内手術（1箇所）	15	1.73	54.47	6.67	63.67	
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他のもの） 等	10	4.20	36.80	10.00	67.90	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内） 等	10	0.20	67.20	50.00	66.30	

頭蓋骨の下にある脳を覆っている硬膜と脳との隙間に血（血腫）が貯まる病気である硬膜下血腫に対する手術が多くを占めております。次に多い脳動脈瘤のクリッピング術は、安全性と患者さまの希望を尊重しながら、一例一例詳細に検討して治療法を決定しており、当院のもっとも得意とする分野です。

産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K867	子宮頸部（腔部）切除術 等	29	0.66	1.00	0.00	40.76	
K877	子宮全摘術	24	1.04	7.25	0.00	47.08	
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側、開腹） 等	13	0.77	6.46	0.00	50.15	
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術 等	11	1.09	4.91	0.00	45.36	
K8982	帝王切開術（選択切開） 等	-	-	-	-	-	

開腹手術、腔式手術、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術と全ての婦人科手術に対応しています。

（※10症例未満に関しては「-」の表示となっております）

眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 □	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの 等	354	0.02	1.01	0.28	75.07	

K2801	硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの	-	-	-	-	-	-
K281	増殖性硝子体網膜症手術	-	-	-	-	-	-
K2821	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 縫着レンズを挿入するもの	-	-	-	-	-	-
K2822	水晶体再建術 眼内レンズを挿入しない場合	-	-	-	-	-	-

白内障に対する水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）の手術が非常に多くなっています。
（※10 症例未満に関しては「-」の表示となっております）

耳鼻咽喉・頭頸部外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃摘出術 等	85	1.02	5.56	0.00	17.14	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型（選択的（複数洞）副鼻腔 等	52	1.00	5.79	0.00	58.37	
K347-3	内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型（骨・軟骨手術）等	20	1.00	6.00	0.00	45.05	
K3892	声帯ポリープ切除術（直達喉頭鏡） 等	17	1.00	1.00	00.00	59.00	
K4611	甲状腺部分切除術（片葉） 等	16	1.00	6.00	0.00	54.00	

一般耳鼻咽喉科疾患に対する手術と頭頸部外科疾患に対する手術を幅広く対応しております。当院の実績としては、扁桃周囲膿瘍などに対する口蓋扁桃摘出術が最も多くなっています。

泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8036	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの 等	102	1.80	5.80	0.98	70.73	
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき） 等	94	0.04	1.15	0.00	59.20	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	49	1.49	9.06	0.00	68.00	
K7811	経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもの 等	46	1.50	3.72	0.00	59.41	
K8411	経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの 等	24	2.63	9.58	0.00	73.79	

膀胱がんに対する膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）の件数が最も多く、次いで体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（尿路結石に対して、体外から発生させた衝撃波体内の結石を粉々に砕き、体外に排出させやすくする治療方法）が多くなっています。

呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除、1肺葉を超え）等	46	2.24	9.85	0	69.11	
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）等	21	2.14	9.81	0	71.38	
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術）等	20	4.4	5.25	0	31.55	
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術等	13	1.85	5.85	0	*56.31	
K5132	胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）等	-	-	-	-	-	

年間約 100 件の手術件数において、胸腔鏡下手術が大半を占めています。特に肺がんに対する胸腔鏡下手術が多く、開胸に比べ、キズが小さく手術後の痛みが少ない方法です。また、ロボット支援胸腔鏡下手術も実施しております。
（※10 症例未満に関しては「-」の表示となっております）

心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5612 ロ	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）等	29	4.45	7.07	0.00	74.28	
K597-2	ペースメーカー交換術	28	0.93	2.07	0.00	81.46	
K6153	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	25	1.68	2.60	0.00	74.24	
K5612 イ	ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）等	25	3.92	9.92	0.00	68.44	
K5551	弁置換術（1弁）等	18	3.06	21.17	0.00	71.94	

心臓血管外科では心臓の病気に対する手術と血管の病気に対する治療を行っております。
平成 30 年度の実績は、血管の病気に対するステントグラフト内挿術が最も多く、次いで狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に対する手術であるバイパス術が多くなっております。

その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルを](#)

[ダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	60	0.59
180010	敗血症	同一	37	0.37
		異なる	31	0.31
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	64	0.63
		異なる	-	-

播種性血管内凝固症候群は、外傷による肝損傷や脾損傷、胃がんなど消化器系の大手術後に血液の凝固異常をきたすものです。当院の場合は消化器系疾患の患者さまが多くを占めております。

敗血症やその他真菌感染症といった感染症については、入院後の発生率が 0.37%となっています。内科系疾患の高齢患者さまの割合が多いです。

手術・処置等の合併症については、透析シャント閉塞や狭窄、機能低下が多くを占めていました。長い間透析シャントを使用していると、血管が狭くなったり、コブ状になったりすることがありますので、当透析センターでは再度シャントを作成し対応を行っております。

更新履歴